

経営比較分析表（令和5年度決算）

福井県公立丹南病院組合 丹南病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	16	対象	ド透訓	救臨感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	15,070	-	第2種該当	7：1

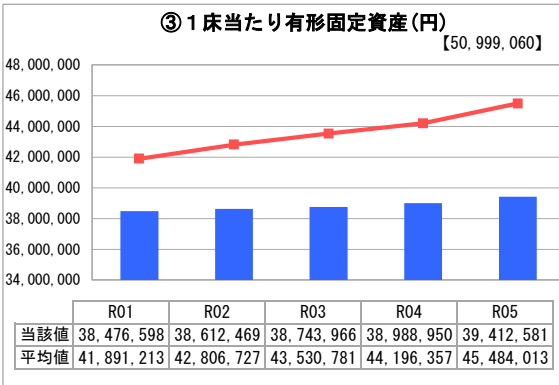
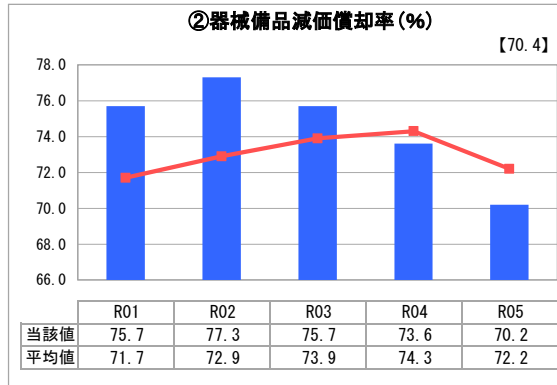
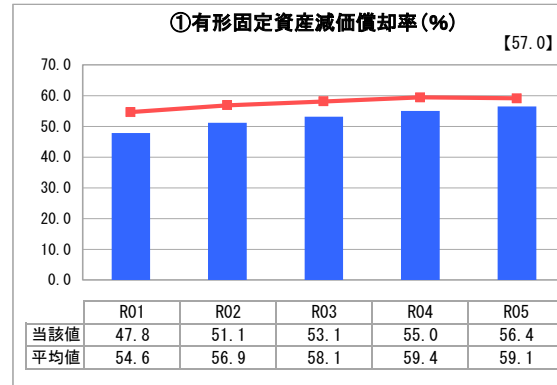
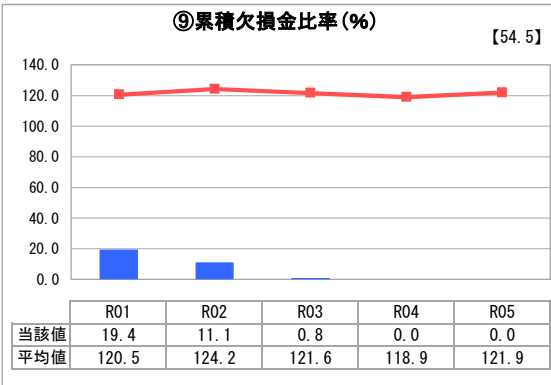
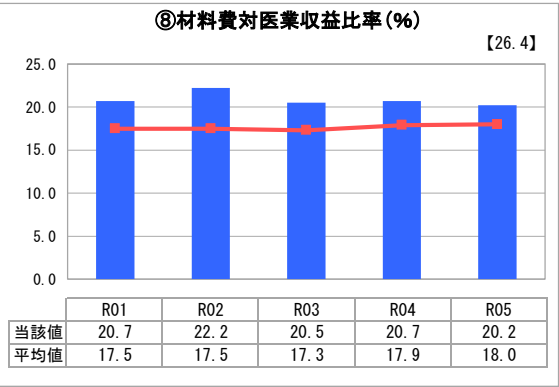
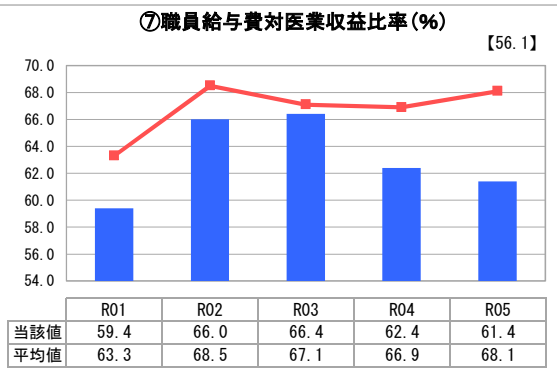
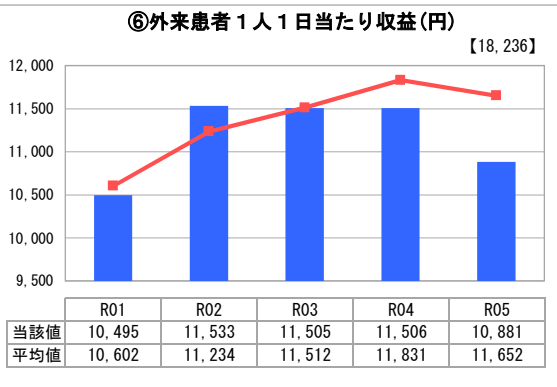
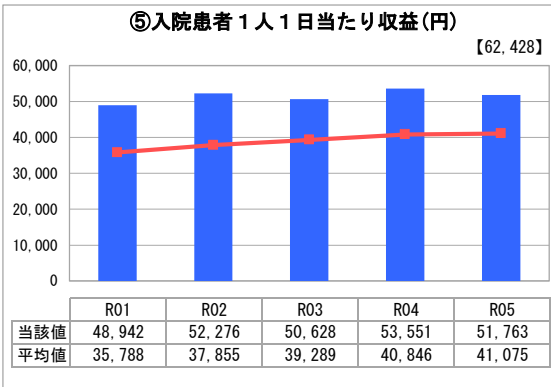
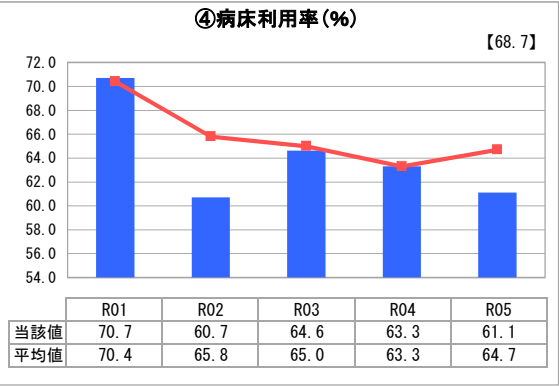
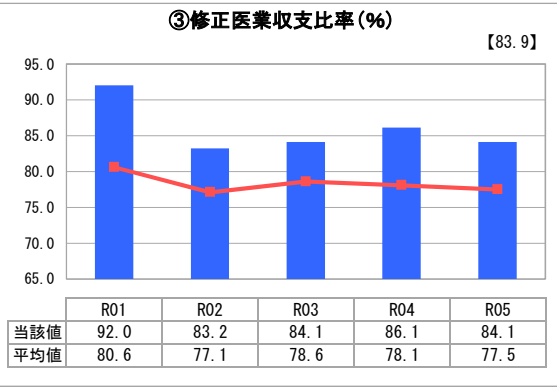
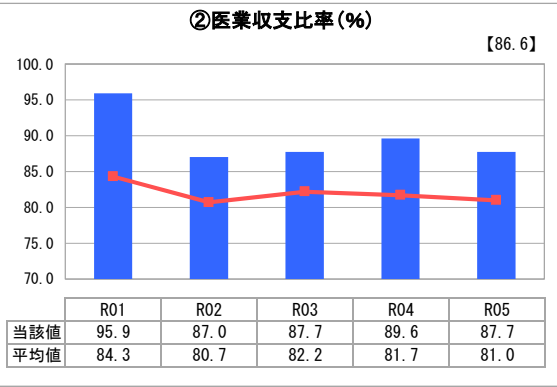
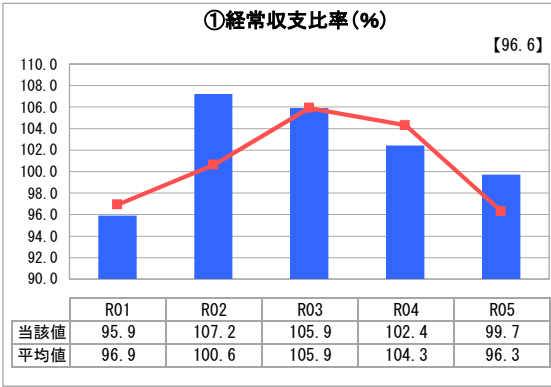
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
175	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	179
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
130	-	130

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

福井県の中央部に位置する丹南圏域における公的中核病院で、救急告示病院や災害拠点病院などの指定を受け、急性期医療はもとより、地域の医療機関等と連携し、回復期や慢性期医療等についても重要な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は平均を上回るものの100%をわずかに切っている。また、医業収支比率、修正医業収支比率ともに平均を上回っており、経営はほぼ健全な状態にあるといえる。しかし、病床利用率は平均を下回り、4年連続70%未満であるため、回復期機能の役割を積極的に行う必要がある。患者1人1日当たり収益については、入院は平均を上回っているが、外来は3年連続下回ったため、各診療科横断で対応できる体制を整える必要がある。職員給与費対医業収益比率は平均を下回っており、概ね適切な状態であると考えられる。また、材料費対医業収益比率は平均を上回っており、医薬品の共同購入等を行い、費用の抑制に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産の減価償却率は平均を下回っており、2年連続で器械備品の減価償却率も平均を下回った。しかしながら、器械類は法定耐用年数を超えて使用しているものが数多くあり、更新費用がなかなか捻出できない状況である。今後は、財政状況を鑑みつつ、医療需要動向に合わせた設備機器の検討とともに、より計画的な更新が必要であるとする。また、器械類の整備については、今後も指定管理者と協議しながら適正に実施する。1床当たり有形固定資産は平均を大きく下回っており、投資規模は適切であるとする。

全体総括

累積欠損金比率は平均より大幅に低い水準にある。また、経常収支比率、医業収支比率、職員給与費対医業収支比率、すべてが良好な数値であり、概ね健全な経営状況といえる。しかし、令和5年度は、コロナ禍で減少した入院患者数が、未だに戻っていない状況で、病床利用率が低迷しており、深刻な問題である。今後、更なる経営の健全性・効率性を高め、施設・設備の老朽化への対応も行う一方で、財政の健全性を維持しつつ、丹南圏域の中核病院として、その役割を十分に果たせるよう努めたい。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。